

鎌倉市深沢地区街づくりガイドライン策定委員会《第1回》 ご意見への対応について

対象項目	ご意見	市の考えと対応について
ガイドラインの構成について	<p>(第1回資料：P 2 まちづくりガイドラインの構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドラインの構成で、土地利用の基本方針や公共施設の整備方針の下に、まちづくりの基本方針として3つの方針があり、さらにその下に5つの柱を立てているなど、全体の流れをどういう骨格で表しているのかが分かりにくい。空間と利用を切り離して考えてしまっているのではないか。 	<p>(第2回資料：P 2 ガイドライン構成フローを修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「まちの将来像・目標」及び、「土地利用の基本方針」や「公共施設の整備方針」は、これまで市民参画の協議会や専門家を交えた専門委員会、関係機関協議等を通して、長期間をかけて作り上げてきたもので、本ガイドラインを作る上での大方針としています。 この方針を受けて、「まちづくりの基本方針」として、都市空間形成、都市景観整備、都市環境整備の方針を定めていくもので、この考え方を踏まえ構成のフローを修正致しました。 なお、「空間」と「利用」は切り離せないことから、前提となる土地利用の実現を図るために、深沢地区の特性を活かした空間形成方針、景観整備方針（利用方針）を定めていきたいと考えます。
地区名「深沢地区」について	<p>(第1回資料：P 4 適用範囲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 古くから「深沢」と呼ばれているエリアがある中、新しいまちづくりを進める当地区を「深沢地区」とするのはいかがなものか。 「新深沢」「深沢新市街地」などの名称が良いのでは。 地区名としては、「深沢地区」が良いと思う。 	<p>(第2回資料：P 4 適用範囲の説明文を修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「深沢地区」とは、事業区域を決める際の呼び名として、便宜的に「深沢地区」と示しているにすぎないものです。これまでも、「深沢地区」と呼んできた経緯もあるため、土地区画整理事業を実施する上での名称を「深沢地区」とし、計画が進み、絵姿が見えたら、新しいネーミングを考えていきたいと考えています。
基礎的情報（歴史・周辺施設等）の整理について	<p>(第1回資料：P 4 適用範囲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本地域のたどってきた歴史をもっと紐解く必要があると考える。田んぼから工業地となり、国鉄用地として地域を断絶する性格となってきた経緯、歴史の重みを受けとめ、新たなまちづくりに引き継いでいくという想いを、きちんと整理すべきである。 歴史の記憶をどうやって継承していくかが大切と感じているため、次の暮らしにつなげるために配慮して欲しい。 	<p>(第2回資料：参考資料P 1 に歴史等に係る資料を追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> 深沢地区の歴史や土地利用の履歴（利用のされ方）、周辺地域とのかかわり等について、参考資料に取りまとめました。これらの背景を共有した上で、委員会での議論やガイドラインの内容に反映していきたいと考えています。 当地区の歴史等については、ガイドラインでの掲載の有無も含めて、ご意見いただければと思います。

対象項目	ご意見	市の考えと対応について
<p>基礎的情報（歴史・周辺施設等）の整理について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設については、周辺地域からの集客も予想され、影響は大きいと考えられる。商業施設のイメージは共有すべき。現在の隣接する商店とのつながりについても示して欲しい。近隣の商業施設、商店街、工場、施設などの情報も示して欲しい。 	<p>(第2回資料：参考資料P2 周辺状況が分かる図面を追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺立地施設や隣接商店等の立地状況等について、参考資料に取りまとめました。本地区と隣接する施設とのつながりを意識し、ガイドラインの内容に反映していきたいと考えています。
<p>「まちの将来像」のキーワードの整理について</p>	<p>(第1回資料：P6 まちの将来像)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史」「自然」が、キーワードの整理では「個性」という言葉に代わっているが、「歴史」「自然」というものをどう活かしていくかといったことや、歴史の記憶をどうやって継承していくかが大切と感じている。以前の暮らしや歴史を、次につなげるために配慮して欲しい。 ・「文化」「歴史」「観光」のキーワードが落ちている気がする。むしろ、「安全・安心」は当たり前なことで、入れなくてもいいように感じる。 ・「個性」の説明文の中で、「鎌倉らしさ」を「深沢地域固有の歴史・文化の継承」と並列するのは、違うと思う。鎌倉らしさとは、古都のイメージがある。これを新しいまちづくりの中にどう取り入れるかを考えないといけない。 ・「賑わい」と「交流」は同じキーワードでよいのではないか。 ・平成16年から計画を策定している経緯の中、P6のようにキーワードで整理するのは、良いと思う。 ・今後、検討を進める中で、フィードバックして整理しなおした方がいいのではないか？ 	<p>(第2資料：P6 まちの将来像のキーワードを修正)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のキーワードの整理は、これまでの検討経緯や過去の計画での考えを踏襲しながら、ガイドラインの策定に向けて整理したものです。 ・前回の委員会においては、「歴史」「自然」等の地域資源について「個性」という言葉でまとめていましたが、「歴史」については深沢らしさの再認識、地域とのつながりを考える上で重要であることから、「個性」ではなく「歴史」をキーワードとして加えました。その他のキーワードについても重要は高いものの、検討を進める中でキーワードとして掲げるかどうか、整理していきたいと考えています。 ・本地区では「深沢地域固有の歴史・文化の継承」を重視する一方で、「鎌倉らしさ」の魅力を発揮することも重要であると考えます。ただ「鎌倉らしさ」は古都のイメージにだけでなく、「新しい鎌倉をつくる」という視点も含めて検討したいと考えており、「鎌倉」の要素をどのように盛り込むか、活発なご議論をお願いします。 ※「個性」のキーワードは変更しました。 ・「賑わい」と「交流」は過去の議論からも、別のキーワードとして区別したいと考えています。 ・今後、本委員会でガイドラインの検討を進める中で、具体化できるものを見極めながら、キーワードについては精査し、最終的に整理し直していくこととします。

対象項目	ご意見	市の考えと対応について
土地利用方針について	<p>(第1回資料：P8 土地利用の基本方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護大学」や「医療福祉系大学」などの記載があるが、具体性や導入可能性について教えて欲しい。また、工業においては、「新たな鎌倉ブランド」を創造できる可能性はあるのか。商業施設や公共施設を含め、土地利用計画(案)の実現性、熟度を教えてほしい。 	<p>(第2回資料：P8 修正事項なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地利用計画(案)を定める過程で、民間事業者等へのヒアリング等を実施し、参入可能性等の意向がある程度高いと聞いていますが、確定している訳ではありません。 ・民間事業者ヒアリング調査では、各社から「鎌倉ブランド」をキーワードとした事業参画の意向を聞いており、今後、民間事業者の選定過程において民間提案を受けながら、新たなブランド創出を模索していきたいと考えています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワード中の「交流」を方針に落としこめてないような気がする。空間と利用を一体的に捕らえてつくっていくべき。 	<p>(第2回資料：P13以降 「交流」を基本方針等に落とし込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域や来街者との「交流」を創出するための空間づくり、仕組みづくりについて、本委員会の中で具体化し、ガイドラインに反映していきたいと考えています。 ・事務局から利用・活用イメージ含めてたたき台を提示したいと思いますので、委員会で活発なご議論をお願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図だけでは、イメージが沸かないため、断面図などで空間イメージを追加して欲しい。 	<p>(第2回資料：P18、P19 断面図等の挿入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、公共基盤施設を中心にイメージ図を作成しました。また今後、計画指針を作成していく中で、VR等を活用しながら、更に必要な断面図やイメージ写真を追加していきます。
イメージの共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・模型を作っていたが、模型を囲みながら議論したい。 ・重要な視点場からのイメージも、是非示して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会では模型ではなく、バーチャルリアリティ(VR)の提示を予定しています。VRでは、色々な角度を変えて見たり、模型で見られないことも細かく表現できたりできると考えています。周辺地区とのつながり等も含めて、景観的な議論等ができるように、広い範囲での地形を作成します。
本委員会参加委員について	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者であるJRにも加わってもらった方がいい。 ・湘南モノレールにも加わってもらった方がいい。 ・まちをプロデュースする観点からも、言葉やキーワードに配慮できる人文系の先生に加わってもらった方がいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・JRや湘南モノレールは委員としての参加ではなく、個別に委員会での検討内容等について報告することを予定しています。 ・学識経験者の委員は、都市計画、景観、環境・低炭素まちづくり、実務経験者という観点でお願いしています。

対象項目	ご意見	市の考えと対応について
まちづくりの基本方針について（P10）	<p>（第1回資料：P10 都市空間形成の方針）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コリドールというカタカナ表現は、分かりにくく、鎌倉には似合わないと思う。 	<p>（第2回資料：P13以降 カタカナ表現の修正）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタカナ表現は分かりにくいというご意見もあるかと思えますので、分かりやすいネーミングを委員会の中でもご提案いただき、決めていければと考えています。 ・今回の資料では、「コミュニティコリドール」を「ふれあいのみち」、「グリーンコリドール」を「みどりのこみち」という表現に修正しています。